

小麦「シラネコムギ」の栽培法について

1 試験のねらい

シラネコムギは、県北部中山間地帯向けの耐寒、耐凍霜害性の良質・強稈品種であり、昭和61年度に奨励品種に採用された。この品種に適した栽培法について、昭和60年度～61年度にかけて検討を行った。

2 試験方法

試験は農試本場水田（中粗粒灰色低地土、灰褐色系、水稻跡）で実施した。

昭和60年度は、播種法、播種量、播種期及び窒素施肥量について検討した。

昭和61年度は、シラネコムギ及び農林61号について、窒素施肥量について検討した。

3 試験の結果及び考察

(1) 播種法

穂数は全面全層播が最も多く、次いでドリル播、条播の順であった。しかし、千粒重は条播がやや重く、子実重はドリル播が最も多収であり、次いで全面全層播、条播の順であった。

(2) 播種量

生育収量は大差なかったが、品質は標準量がやや優れる傾向が認められた。

(3) 播種期

60年度は寒冬のため、生育が遅延し、出穂期、成熟期とも平年より3～4日遅れた。このような条件のため、子実重は10月25日～11月8日まで差が認められなかった。11月1日播が比較的倒伏が少なく、千粒重も重く適当と考えられた。

(4) 窒素施肥量

60年度の試験では、標準量（ドリル播ではa当たり0.8kg）に比べて125%区（同1.0kg/a）及び150%区（同1.2kg/a）で穂数がやや多く、多収であった。

61年度の試験では、増肥により倒伏がやや増加し、穂数もやや増加し、子実重も増加した。農林61号がa当たり1.0kg以上で倒伏が増加し子実重の増加が認められなかったのに対し、シラネコムギはa当たり1.2kg以上で倒伏がわずかに認められた程度で子実重の増加も大きかった。

4 成果の要約

シラネコムギの栽培法について検討した結果、耐倒伏性に優れていたため窒素施肥量は農林61号の20～30%増が適当でしかもドリル播が多収を示した。この場合、播種量は標準量で十分であり、播種期は標準日である11月1日播が適していた。

（担当者 作物部 前波健二郎＊）

＊現普及教育課

表-1 生育収量調査(昭和60年度)

項目	形質	出穂期		成熟期		倒伏程度	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	小穂数 段	不稔子重 kg/a	実重 g	品質	等級
		月	日	月	日									
ブロック	1	4.20	5.10	6.26	0.7	94.2	8.6	583	18.4	1.6	58.1	32.9	7	4
"	2	4.20	5.10	6.26	1.3	93.5	8.5	610	18.2	1.6	56.7	32.3	6	4
"	3	4.20	5.9	6.26	1.4	94.0	8.5	590	18.1	1.6	55.5	32.4	5	4
播種法							※	※※			※※	※※		
ドリル播		4.20	5.10	6.26	1.7	93.2	8.5	608	18.2	1.6	63.5	32.3	6	4
条播		4.19	5.9	6.26	0.3	94.8	8.7	457	18.3	1.6	50.8	33.5	5	3
全面全層播		4.20	5.10	6.26	1.4	93.7	8.4	719	18.2	1.6	56.1	32.1	7	4
LSD(0.05)							0.2	51			2.8	0.6		
播種量														※
標準量		4.20	5.10	6.26	0.4	93.1	8.6	567	18.4	1.6	55.3	33.0	5	3
125%		4.20	5.9	6.26	1.2	93.5	8.5	600	18.2	1.6	56.7	32.6	6	3
150%		4.20	5.9	6.26	1.8	95.1	8.5	616	18.0	1.6	58.3	32.4	7	4
LSD(0.05)														1
播種期		※※	※※	※※		※※			※※				※	
10月25日		4.17	5.9	6.25	1.3	96.2	8.6	584	18.4	1.7	55.5	33.0	5	3
11月1日		4.20	5.10	6.26	0.7	94.0	8.6	598	18.4	1.6	57.1	32.8	6	4
11月8日		4.22	5.11	6.27	1.4	91.4	8.4	602	17.9	1.5	57.7	32.2	7	4
LSD(0.05)		1	1	1		2.1			0.5			0.6		
施肥量						※					※	※※	※	
標準量		4.20	5.9	6.26	0.1	92.5	8.5	578	18.3	1.7	54.0	33.2	6	4
125%		4.20	5.10	6.26	1.4	94.7	8.6	592	18.3	1.6	57.4	32.5	6	4
150%		4.20	5.10	6.26	1.9	94.6	8.6	614	18.2	1.5	58.9	32.3	6	4
LSD(0.05)					1.3					0.2	2.8	0.8		
総平均値		4.20	5.10	6.26	1.0	93.9	8.5	594	18.2	1.6	56.8	32.6	6	4

注1 播種量:標準量は、ドリル播0.8kg/a、条播0.4kg/a、全面全層播1.2kg/a
 2 施肥量: N標準量は、ドリル播0.8kg/a、条播0.6kg/a、全面全層播0.9kg/a
 P₂O₅:1.2、K₂O:1.0
 3 ※:5%、※※:1%レベルで有意

表-2 生育収量調査(昭和61年度)

品種名	窒素 施肥量 kg/a	出穂期		成熟期		倒伏程度	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	1穂子重 g	実重 kg/a	品質	等級
		月	日	月	日								
シラネ コムギ	0.8	5.2	6.13	0.0	79	7.6	460	28.1	45.0	36.7	2.0	1.0	
	1.0	5.2	6.13	0.0	81	8.1	508	27.8	52.5	36.3	2.5	1.0	
	1.2	5.2	6.14	0.3	85	8.3	544	29.3	57.4	35.4	3.0	1.0	
	1.4	5.3	6.14	0.8	86	8.4	582	29.3	60.1	34.3	3.0	1.5	
農林 61号	0.8	5.1	6.14	1.5	83	8.3	403	28.1	44.6	36.5	4.5	1.5	
	1.0	5.1	6.14	2.3	85	8.5	468	28.3	49.8	36.0	2.0	1.0	
	1.2	5.1	6.14	4.0	89	8.7	494	28.6	50.0	35.2	4.0	1.5	
	1.4	5.1	6.14	4.5	89	8.7	463	30.6	50.9	33.9	5.5	2.0	

注 ドリル播、播種量0.8kg/a、施肥量(kg/a)、P₂O₅:1.2、K₂O:1.0